



後期開始！

10日間の秋休みは、いかがお過ごしだったでしょうか。コロナ禍でしたが、しっかりお休みいただけたでしょうか。21日（火）の朝、台風明けの秋空のもと、校舎内に子どもたちの元気な声が響く中後期がスタートしました。

8時10分、後期の始業式開始です。リモートでの式もずいぶん慣れました。校長先生のあいさつに対し、各教室から元気の良いあいさつが返ってきました。また、教室での姿勢や礼もきちんとそろってとてもきれいでした。校長先生から、後期に向けて子どもたちに次のように話がありました。

皆さん、お早うございます。今日から後期が始まりました。前期終業式で、「あゆみ」を見て、自分の「新しい目標」を考えましょうというお話をしました。今日、後期が始まるにあたって、「新しい目標」をもって、始業式に臨んでいますか？

さて、後期も「山小ベース」をしっかり心に留め、よりよい学校生活を創り出していきましょう。

そこで、「山小ベース」で大切にしている「思いやりの心」について、ディズニーランドのあるレストランでのお話を紹介します。

30歳前後の夫婦が、お昼にディズニーランドのレストランに入り、大人二人分の食事とお子様ランチを注文したそうです。店員さんは「お子様ランチは6才以下のお子様に限られています」と、レストランのルール通りに対応しました。

すると、お子様ランチを注文したご婦人は「今日は亡くなった子どもの6才の誕生日なのです。6才になったらディズニーランドに行こうねと約束をしていたのです。それで、亡くなった子どものお子様ランチも注文させていただけないでしょうか…」と。その話を聞いて店員さんは、「少々お待ち下さい」と言って事務所に入っていきました。しばらくして、戻ってきて「こちらへどうぞ」と、夫婦を特別室へご案内したのです。ドアが開かれて夫婦はびっくりしました。

特別室のテーブルには夫婦二人の椅子とお料理が、そして、子ども用の椅子までも準備され、テーブルには、なんとお子様ランチとお誕生日のケーキまでも置かれた食卓が用意してあったのです。

夫婦は感激のあまり涙が止まらなかったそうです。

レストランのルールはありますが、亡くなった子どもとの約束を聞き、この夫婦の心に寄り添い、レストランとして「まごころ」をもってご夫婦を迎えたんだと、わたくしは思いました。

皆さんも、学校内外の生活において、友達の気持ちを考え、その思いを察することが大切な場面も多くあると思います。そのような時に、「思いやりの心」をもって行動できる、そんな人になってほしいと願っています。以上で、わたくしのお話を終わります。

後期教育実習①がはじまりました！

後期スタートと共に、後期教育実習①も始まりました。出会いの式もリモートで実施です。実習生に向けて、6年生の田中くんが全校を代表してあいさつをしました。8日間という短い期間ですが、充実した教育実習を行い、子どもたちの成長にもつなげていきたいと考えてます。

